

## 2年生 算数 10や100のまとまりをつかって数える

### 1 ねらい

2年生では、たくさんの数を数えるとき、10のまとまりや100のまとまりをつかって数えるということを学習します。算数の授業では、低学年ほど具体物で操作しながら学習することが大切だと思います。幸いペットボトルキャップがたくさん集めてあったので、これを活用することとしました。

### 2 実践内容

#### (1) 校長先生からの依頼

「2年生のみなさんへ ペットボトルのキャップがぜんぶで何個あるか、<sup>なんこ</sup>教えて<sup>おし</sup>てください。」



#### (2) 取り組みの様子

さあ、はじめよう



10のまとまりを作る



100のまとまりを作る



(3) 児童のワークシートから

こうちょうせんせい 校長先生からの依頼 いらい

2年生のみなさんへ  
ペットボトルのキャップがぜんぶで何個あるか、教えてください。？

◎ せいさく 正確に数える方法を2つ以上考えよう いじょうかんひ

100をかぞえたらびじんに一箱がクローにいれる。  
10こずつかぞえる。

20こずつかぞえる。

色でわけて数える。

482 +436 <hr/> 918	374 +558 <hr/> 932	321 +316 <hr/> 637
918 +932 <hr/> 1840	637 +488 <hr/> 1125	
1840 +1125 <hr/> 2965		

おぼろげに100をつくる  
おぼろげに100をつくる  
おぼろげに100をつくる

校長先生へ

むずかしかったけどできました。

校長先生へ

さいしゅうはむずかしいと思ったけどみんなで  
やたらおもしろかったです。

校長先生へ

2920でした。こうちょう先生キャップ70のかたまりおかり  
ました。またとんどんいらしていただき。

#### (4) 学級だよりから

# たいよう



2年1組  
学級だより

2018. 10. 19

第22号

朝夕涼しく、過ごしやすい季節となりました。運動会も終わって、子どもたちは、学習にじっくりと取り組んでいます。

#### <校長先生からの挑戦状>

校長先生が、子どもたちの深い学びをすすめるために、いろいろな学年にいろいろなしかけをしてくれています。2年生にも「挑戦状」が届きました。大きな袋いっぱいのエコキャップが、いくつあるか数えてほしいというのです。2年生は、「10が10集まって100、100が10集まって1000」ということを学習済みです。そのことを利用して、床いっぱいに100のかたまりを作りながらグループで協力して数えていきました。最後には、まだ習っていない3ケタ+3ケタの筆算にもチャレンジしました。「難しい〜。」と言いながらも、夢中になって挑戦していましたよ。



## 校長先生からの挑戦状

校長先生から2年生へ、難しい問題が届きました。袋いっぱいのペットボトルのキャップの数を調べてほしいというものです。どうしたらまちがえずに、簡単に数えることができるのか、工夫を考えました。

ペットボトルのキャップに挑戦する前に、練習としてプリントに印刷されたカエルの数も数えてみましたが、「大きな数を数える時には10のまとまりをつくる」や「100のまとまりにする」など、これまでの勉強で覚えた方法を使っていたので、これならペットボトルのキャップも上手くいきそうだと思っていました。

ところが、いざキャップを数えだすと、数えたものと数えていないものがまざってしまったり、途中で数が分からなくなってしまったり、悪戦苦闘をする姿が……。それでも、10ずつきれいに並べて数えた班が、他の班にも手伝いについて、最後にはみんなで協力しながらキャップの数を調べることができました。



### 3 実践を終えて

子どもたちは夢中になって取り組んだようです。3ケタ+3ケタの筆算は習ってないということでしたが、必要に迫られて、チャレンジしたと聞いて嬉しく思いました。

同じもの(同じ個数)を使ったのですが、1組は2,975個、2組は2,920個となりました。2組は各班の個数を担任が確認したことから、2組の方が正確だと教えてもらいました。5・6年生への課題に使うときは、2,920個を使用することにしました。